第19講　戦争への道と敗戦

PART6 第二次世界大戦と日本の敗戦

Chapter 1　戦時体制と太平洋戦争への道

目標
戦時体制確立の決定打となった二大要素とは何だろう？
ヨーロッパで開戦した第二次世界大戦に対しての日本のスタンスを知ろう。

1　戦時体制〔総力戦体制〕の確立

1937年　文部省『**国体の本義**』『臣民の道』作成→国民思想の教化を図る
臨時資金調整法・輸出入品等臨時措置法など「戦時三法」制定
〔1　　　　　　　〕の設置（近衛文麿①内閣）→**経済統制**強化のため内閣に直属
国民精神総動員運動の開始→期待されたほどには高揚せず

1938年　〔2　　　　　　　　　　〕**（近衛文麿①内閣）**→企画院が立案
電力国家管理法（近衛文麿①内閣）

1939年　**賃金統制令・国民徴用令**（平沼騏一郎内閣）
価格等統制令（阿部信行内閣）→公定価格制を導入

1940年　米の**供出制**を実施（米内光政内閣）
七・七禁令→「不要不急」民需品であるぜいたく品の製造・販売を禁止
砂糖・マッチ・木炭が個別の**切符制**を開始
〔3　　　　　　　　　〕の結成**（近衛文麿②内閣）**
※**新体制運動**の結果，全ての政党が解散して成立した公事結社。総裁は首相，支部長は道府県知事。のち大日本産業報国会・大日本青少年団・大日本翼賛壮年団・大日本婦人会・部落会・町内会・隣組〔隣保班〕を下部組織とする，官製の上意下達機関となった。
大日本産業報国会の結成→産業報国会を傘下に置く産業報国連盟が発展
※全ての労働組合・労働団体を解散して成立。総裁は厚生大臣。
紀元二千六百年記念式典
※神武天皇即位（前660年）を記念。東京オリンピックは返上。

1941年　米の〔4　　　　　　　〕を開始
国民学校令（近衛文麿②内閣）→植民地でも**「皇民化」政策**を展開していた

※「皇国民の錬成」を目指し，小学校を国民学校と改称。
成人と同様に「八紘一宇」の精神を教え，軍国少年・少女を育成した。

2　太平洋戦争開戦への道

①〔5　　　　　　　〕**内閣**（**枢密院**，1939 年）→**北進論**を再検討中に……

1939 年　**ノモンハン事件**→前年の**張鼓峰事件**（近衛文麿①内閣）に続く日ソの激突

アメリカが**日米通商航海条約破棄**を通告→翌年条約失効

独ソ不可侵条約の締結→「**欧州の天地は複雑怪奇**」と衝撃を受け総辞職

②**阿部信行内閣**（**陸軍**，1939 ～ 40 年）

近衛文麿

1939 年　**第二次世界大戦開戦**→日本は欧州大戦不介入の方針

③**米内光政内閣**（**海軍**，1940 年）→引き続き欧州大戦不介入方針

1940 年　パリ陥落→フランスがドイツに降伏し日本国内に**南進論**が急浮上

斎藤隆夫（立憲民政党）の反軍演説

※軍部による「親英米派」攻撃が始まり，枢密院議長を退いた
〔6　　　　　　　〕主導の**新体制運動**が始まる。→「バスに乗り遅れるな」

※陸軍は軍部大臣現役武官制を利用し内閣を総辞職に追い込む。

④**第二次近衛文麿内閣**（**貴族院**，1940 ～ 41 年）→「**大東亜共栄圏**の建設」がスローガン

1940 年　〔7　　　　　　　〕**・日独伊三国同盟**

※態度を硬化させたアメリカは，日本に対する屑鉄・鉄鋼・航空機用ガソリンの
輸出を禁止するとともに，中国に対する援助を強化した。

1941 年　**日米交渉**開始（４月）→野村吉三郎駐米大使と〔8　　　　〕**国務長官**

※円ブロック経済の日本は「**ABCD 包囲陣**」による経済封鎖に苦しんでいた。

〔9　　　　　　　〕（４月）→松岡洋右外相の独走

※日米交渉は難航，６月に**独ソ戦争**開始で混乱。

まとめ
国家総動員法と大政翼賛会の成立により，戦時体制は確立した。
日本は欧州大戦不介入方針から，米英と対立する南進論へと転換した。

Chapter 2　日本の敗戦

目標
日本の軍部に関連する大きな敗因を考えてみよう。
連合国と枢軸国の国土的な違いを，大きく２点考えてみよう。

1　アジア太平洋戦争の開戦

昭和天皇

第二次近衛文麿内閣の 1941 年７月２日，**独ソ戦**勃発に合わせ開かれた
御前会議（天皇臨席の大本営政府連絡会議）で
「情勢の推移に伴う帝国国策要綱」（南北併進論）が出る。
※陸軍は**関東軍特種演習〔関特演〕**という名目で約 70 万の兵力を満ソ国境に結集。
　結果的に**連合国**の一員となったソ連がドイツを押し返し南進実行となり，翌月中止される。
①**第三次近衛文麿内閣**（**貴族院**，1941 年７月～ 10 月）→松岡洋右外相外し
　1941 年　日米交渉再開（７月～）→のち来栖三郎も加わるが難航
　〔1　　　　　　　　　　〕→すでに決定されていた進駐を実行
　※アメリカは**在米日本資産凍結**（７月）・**対日**〔2　　　　〕**禁輸**（８月）措置
　　とし，日米関係が険悪化。イギリスも日英通商航海条約破棄を通告した。
　「**帝国国策遂行要領**」（９月６日の御前会議）
②〔3　　　　　　　　〕**内閣**（**陸軍**，1941 年 10 月～４４年７月）→東郷茂徳外相
　９月６日の決定の白紙還元を条件に，**重臣会議**の中心であった**内大臣木戸幸一**が推挙。
　1941 年　ハル＝ノート（11 月 26 日）→満洲事変以前の状態への復帰を要求
　（アジア）**太平洋戦争開戦（12 月８日）**→開戦後「**大東亜戦争**」と呼称
　※陸軍が**英領マレー半島コタバル上陸**，**海軍**が**ハワイ**〔4　　　　　　〕**攻撃**。
　マレー沖海戦・英領香港占領（12 月）
　1942 年　米領フィリピンのマニラ占領（１月）
　英領マレーとシンガポール占領・アメリカで日系人の強制収容開始（２月）
　蘭印〔オランダ領東インド〕占領・英領ビルマのラングーン占領（３月）
　〔5　　　　　　　　〕（４月）→**翼賛政治会**（のち大日本政治会）結成
　米領フィリピン占領（５月）→一時的にマッカーサー撤退
　〔6　　　　　　　　　　〕**海戦**（６月）→戦局が悪化し日米の攻守が交代
　横浜事件→特別高等警察が捏造した『改造』『中央公論』への言論弾圧（９月）

1943 年　〔7　　　　　　　　　〕**島撤退**（２月）→軍部は「転進」とする

アッツ島全滅（５月）→軍部は「玉砕」とする

学徒動員〔勤労動員〕開始（６月）→中等学校以上の男子学生

女子挺身隊　（９月）→ 25 歳未満の未婚の女子を勤労動員

〔8　　　　　　　　　〕新政府が**無条件降伏（９月）**

大東亜会議（11 月）→東京で日本を中心に「大東亜共同宣言」

〔9　　　　　　　　〕**会談（11 月）→米英中**が「**カイロ宣言**」

学徒出陣（12 月）

1944 年　印領インパール作戦失敗・〔10　　　　　　　　　〕**島陥落**（７月）

※**絶対国防圏**の一角が崩壊。マリアナ諸島陥落の責任を負い東条内閣は総辞職。

2 「大東亜戦争」敗戦へ

小磯国昭内閣（**陸軍**だが海軍の米内光政と連立，1944 ～ 45 年）は，大本営政府連絡会議に代わり**最高戦争指導会議**を設置し首相の権限を強化したが，独自の和平工作に失敗した。

1944 年　**学童疎開〔集団疎開〕**の開始（８月）

フィリピンの**レイテ島海戦〔比島沖海戦〕**に敗北（10 月）

※**神風特別攻撃隊〔特攻隊〕**が出撃，戦艦武蔵を失う。

本格的な**本土空襲**開始（11 月）

※都市では建築物の強制取り壊し（「建物疎開」）や**防空壕**の掘削が行われ，軍需工場の地方移転や住民の縁故疎開も行われた。

1945 年　アメリカがフィリピンを奪回（２月）・**硫黄島**に上陸（２月）

〔11　　　　　　　　〕**会談**（２月）**→米英ソ**が「ヤルタ協定」締結

東京大空襲（３月 10 日）→ **B29** 爆撃機の**焼夷弾**で約 10 万人が焼死

アメリカが沖縄本島に上陸（４～６月）→沖縄は「捨て石」扱い

※**沖縄戦**では軍人９万，民間人 10 万人が犠牲となり，**集団自決**もあった。

男子中学生は**鉄血勤皇隊**，女学生は**女子学徒隊**（ひめゆり学徒隊など）として戦闘に参加。沖縄救援に向かった戦艦**大和**も撃沈された。

まとめ　陸軍と海軍の連帯感のなさも，日本の大きな敗因だった。
連合国は枢軸国に比べ，国土が広いか植民地が広い国が多かった。

第 19 講　PART 6　確認問題

1 1938 年に制定された，議会の承認なしに戦争に必要な物資や労働力を動員する権限を政府に与えたのはどれか。

① 国民徴用令　② 国民精神総動員運動
③ 国家総動員法　④ 重要産業統制法

2 1939 年に，アメリカが日本の中国政策に反発して行ったのはどれか。

① 石油の禁輸　② 在米資産凍結
③ 屑鉄禁輸　④ 日米通商航海条約破棄の通告

3 独ソ不可侵条約の締結に対応できず，総辞職した内閣はどれか。

① 平沼騏一郎内閣　② 米内光政内閣
③ 阿部信行内閣　④ 林銑十郎内閣

4 1940 年，近衛文麿が国民組織の結成を図ったものはどれか。

① 国家改造運動　② 国家独占資本主義
③ 農山漁村経済更生運動　④ 新体制運動

5 1941 年 9 月の御前会議で決定された開戦についての方針はどれか。

① 「国策の基準」　② 「帝国国策遂行要領」
③ 「国体の本義」　④ 「帝国国防方針改訂」

6 1941 年 12 月，日米開戦を決行したときの首相はだれか。

① 近衛文麿　② 米内光政
③ 東条英機　④ 小磯国昭

7 日本の戦局が悪化する契機となった海戦が行われたのはどこか。

① ミッドウェー　② レイテ
③ ガダルカナル　④ サイパン

8 1945 年 2 月，米英ソによって行われた会談はどれか。

① マルタ会談　② カイロ会談
③ ヤルタ会談　④ ポツダム会談

第19講　PART6　確認問題 解答

1 解答：③　**国家総動員法**は近衛文麿内閣のときに，企画院が立案した。

2 解答：④　**日米通商航海条約**は翌年の 1940 年に失効した。これ以降アメリカは，戦略物資の禁輸，資産凍結を行うなど，日本経済への圧力を強めた。

3 解答：①　**平沼騏一郎内閣**は，「欧州の天地は複雑怪奇」と衝撃を受け総辞職した。

4 解答：④　新体制運動の結果，全ての政党が解散し，**大政翼賛会**が結成された。

5 解答：②　**「帝国国策遂行要領」**では，10 月上旬までに対米交渉がまとまらない場合の開戦が決定された。

6 解答：③　陸軍がイギリス領**マレー半島**コタバルに上陸，海軍がハワイの**真珠湾**にあるアメリカ軍基地を攻撃し，日米開戦となった。

7 解答：①　1942 年 6 月の**ミッドウェー海戦**で，日本は空母 4 隻を失い，戦局が転換した。

8 解答：③　**ヤルタ会談**では，ソ連の対日参戦などが決められた。②の**カイロ会談**は 1943 年 11 月に米英中によって行われた会談である。